

授業科目名	健康の科学	教員名	丸山 圭介	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	必修
					小学校教諭	必修
科目番号	KEN101	配当年次	1年後期		幼稚園教諭	必修
					保育士	必修
授業形態	講義				こども音楽療育士	
単位数	1単位				情報処理士	
科目						
施行規則に 定める科目区分						
一般目標	人の体に備わっている生体の恒常性維持機構や、その他の生理機能を理解し、「健康」を保つための仕組みを習得する。					
到達目標	人の体に備わっている生体の恒常性維持機構や、その他の生理機能に関して、下記の点を説明できる。 「生体の恒常性」、「自律神経とホルモン」、「血液と循環」、「免疫機能」 「肺と腎臓の機能」、「消化と吸収」、「脳機能」、「ストレス反応」、「性機能」					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、学科のディプロマポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている、6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	本講義では、人の体の中にある様々な仕組み、特に「生体の恒常性」、「自律神経とホルモン」、「血液と循環」、「免疫機能」、「肺と腎臓の機能」、「消化と吸収」、「脳機能」、「ストレス反応」、「性機能」を学び、「健康」に関する科学的知識を得る。					
履修条件・注意事項	講義内容には、動物学や医学に関する専門的知識も含まれるため、必ずノートを用意してメモを取り、復習を行ってください。ただし、講義で使用するスライドをスマホ等で撮影することは固く禁じます。撮影していることが判明した場合は、講義を受講できなくなる可能性がありますので、注意してください。定期試験では、講義内容から広く出題します。従って、講義で分からない点があれば、必ず質問してください。					
授業計画	<p>第1回 内容1：自己紹介・講義オリエンテーション (本講義の概要、履修における注意点、評価方法の説明) 内容2：“健康とは？、病気とは？”、“動物の体”</p> <p>第2回 内容1：“外部環境と内部環境”、“体液の組成”、“生体の恒常性” 内容2：生体の恒常性を維持する仕組み、“自律神経と内分泌”</p> <p>第3回 内容1：全身を巡る、“血液の組成と働き” 内容2：血液を全身に送る、“心臓と血管の働き”</p> <p>第4回 内容1：体の隅々まで酸素を届ける、“赤血球の働き” 内容2：感染から身を守る、“白血球の種類と働き”</p> <p>第5回 内容1：ガス交換を担う、“肺の構造と働き” 内容2：内部環境から老廃物を取り除く、“腎臓の働き”</p> <p>第6回 内容：“食事と健康”</p> <p>第7回 内容：“脳の働き”、“脳と身体ストレス反応”</p> <p>第8回 内容1：“人の生涯と健康年齢” 内容2：“定期試験の説明”と“理解度セルフチェック”</p> <p>* 内容が変更されることもあります。</p> <p>定期試験：試験期間中に実施</p>					
授業外学修時間の確保について	(事前・事後学習として週2時間以上行うこと。) ・事前学習：授業の最後に次回学習の内容を提示するので、それに応じているいろいろなメディア(文献、テレビ、新聞、ネット等)から情報を収集しておくこと。					
学生に対する評価	定期試験で評価する。60%以上を合格とする。 評価は学生便覧を参照(尚、定期試験受験可能な授業出席数が無ければ受験できない)					

テキスト	テキスト：特になし（スライドを用いての講義）
参考書・参考資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考書：特になし</li> <li>・参考資料等：毎回の講義で、講義内容を穴埋めする“講義メモ”と図をまとめた“講義プリント”を配布するので、自学自習に使用すること。</li> </ul>
担当者からのメッセージ	講義担当者として、授業を受講するにあたって学生に周知しておきたいことなどを書いてください。
オフィスアワー	<p>授業の前後の時間 * 事前にメールで連絡をいただければ、別途時間を調整することも可能です。</p> <p>Email: <a href="mailto:k-maruyama@miyazaki-u.ac.jp">k-maruyama@miyazaki-u.ac.jp</a></p>
備考	